

令和5年度第6回経営協議会議事要旨

日時	令和6年2月14日(水) 14:29~16:07
場所	本部棟大会議室 (一部の委員はZoomでの出席)
出席者	空閑学長、松田理事・副学長、佐藤理事・副学長、船水理事・副学長、今井委員、塩谷委員、戎委員、青山委員 (Zoom出席)、岩永委員 (Zoom出席)、大日向委員 (Zoom)、関委員 (Zoom出席) 中村委員 (Zoom出席)、西尾委員 (Zoom出席)
欠席者	岩見委員、鈴木委員、炭谷委員
出席オブザーバー	高橋監事、増江監事、桃野副学長、清水副学長、董副学長
欠席オブザーバー	木幡副学長

議事に先立ち、前回開催した経営協議会の議事要旨及び発言内容記録については、議事要旨及び発言内容記録として確認された。

議題1 キャンパスマスタープラン2023(案)について

佐藤理事から、資料1に基づきキャンパスマスタープラン2023(案)について提案があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとされた。

資料1-1 キャンパスマスタープラン2023(案)について

資料1-2 キャンパスマスタープラン2023(案)

議題2 監事候補者の選考方法について(追加)

学長から、資料6に基づき監事候補者の選考方法について提案があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとされた。

資料6-1 監事候補者の選考方法について

資料6-2 国立大学法人室蘭工業大学監事候補者の選考方法

資料6-3 国立大学法人室蘭工業大学監事候補者の人材像について

資料6-4 国立大学法人等の監事の職務・役割等について

報告1 大学院博士前期課程 共創情報学コースの英語名称について

学長から、資料2に基づき大学院博士前期課程 共創情報学コースの英語名称について報告があった。

資料2-1 大学院博士前期課程共創情報学コースの英語名称について

資料2-2 共創情報学コース英語名称案

報告2 令和6年度概算要求の内示について

佐藤理事から、資料3に基づき令和6年度概算要求の内示について報告があった。

資料3 令和6年度概算要求の内示について

報告3 大学の近況について

学長から、資料4に基づき大学の近況について報告があった。

資料4 大学の近況について

懇談1 室蘭工業大学の他機関との連携状況について

資料5に基づき室蘭工業大学の他機関との連携状況について懇談を行った。

(学外委員からの主な意見)

岩永委員

- ・こうした形で連携を進めるのは非常に重要で、特に最近の宇宙や再生エネルギーというのは、道外から新しい企業や産業がいろいろ入ってくる新しい動きになっており、そうした動きを取り込んでいくという意味でもこうした分野での連携を模索していくのは大事だと思う。
- ・コーディネーターが機能するかが重要であるが、成果が出ないことがある。経験を重ねてトライアンドエラーを重ねることが必要である。
- ・新しい産業という意味では、半導体、デジタル分野は、人材育成がこれから本当に必要で、中長期的に足りない人材を増やしていかないといけない。女性技術者も含め、そうした人材を大学で育成するのも大事であり、また、高校や中学校との関係でも理系人材を増やすという意味では、大学の手前のプロセスとの連携も意味があるのではないか。

青山委員

- ・室蘭工業大学の協定状況を客観的に見て、大学側から働きかけるケースと、企業からのケースもあると思って拝見していた。社会情勢でよく伺うのが、企業も人材確保に苦勞しているということであり、企業としても学生あるいは研究室に研究者を送り出すとか、共同研究する中で解決しようとか、もう一歩進んで、例えば協定を結んだ企業から外部資金を獲得して、研究室運営につなげるような、もう少し進んだ具体的な取り組みがあると良い。

資料5 室蘭工業大学の他機関との連携状況について

以上